

Coleman B.C. Dome 270 Plus

この度はコールマンB.C.ドーム270プラスをお買い上げいただき誠に有難うございました。テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

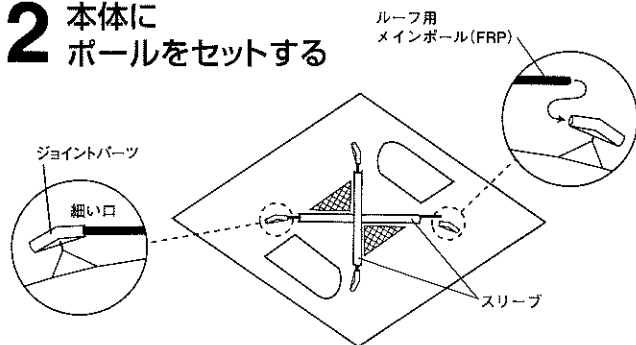
設営手順

1 セット内容の確認

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- 本体 1張
- フライシート 1張
- ルーフ用メインポール(FRP) 2本
- サイド用メインポール(スチール) 4本
- フライポール 1本
- 自在ロープ 6本
- ペグ 14本
- ハンマー 1ヶ

2 本体にポールをセットする



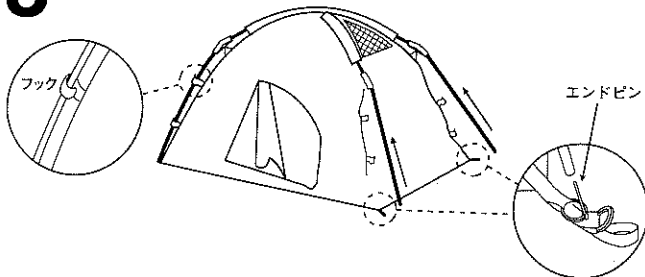
①本体を広げ、ルーフ用メインポール(FRP) 2本をのびし、図のようにスリーブに通してください。

ポールは引き入ると中でポールがはずれ、継ぎ目にスリーブ等が引っ掛かります。押し込んで挿入してください。

②各々のポールエンドの一端をジョイントパーツの細い口側へ差し込んでください。

ジョイントパーツの穴は、中にギザギザが付いている方がルーフポール用です。ご注意ください。

3 本体を立ち上げる



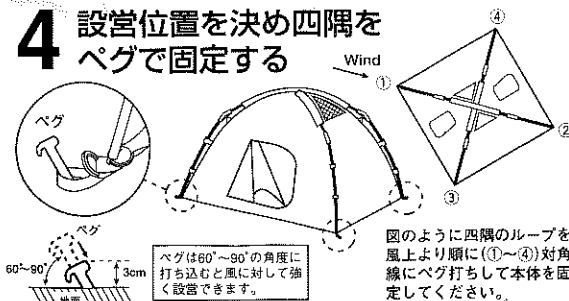
①出入り口は空気が入りやすいよう、あらかじめファスナーを全開にしておきます。

②4本のサイド用メインポール(FRP)をジョイントパーツの太い口側へ差し込んでください。同時に矢印の方向へ押しながら、本体を立ち上げてください。ポールをエンドピンにセットしてください。

ポールをピンに差し込む時は指をはさまない様、ご注意ください。

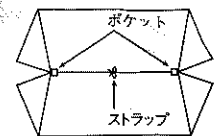
③本体についているフックを各ポールに掛けて、固定してください。

4 設営位置を決め四隅をペグで固定する



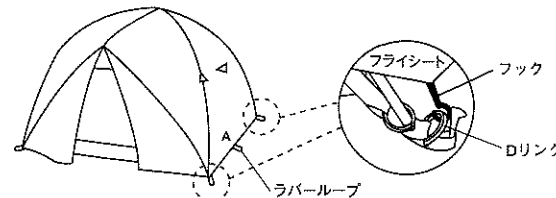
図のように四隅のループを風上より順に①~④)対角線にペグ打ちして本体を固定してください。

5 フライシートにフライポールをセットする



フライポールを組み立て、図のようにフライシート裏面の2カ所のポケットにペグ打ちして本体を固定してください。ストラップで固定します。

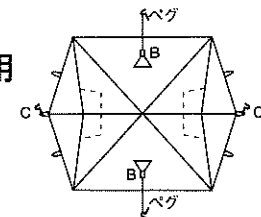
6 フライシートを本体にセットする



①フライシートを図のように本体にかぶせ、四隅のフックを本体のDリング(上側)にひっかけて固定します。
②フライシートの裾Aの部分のラバーリングをペグ打ちしてください。(2カ所)

できるだけ、フライが本体から離れるような位置にペグ打ちしてください。

7 前室とセンターループの活用



①フライシートのBの位置にあるセンターループに付属のロープを結び、図のようにペグで固定してください。

テントの安定性を高め、フライとインナーの接触を防ぎます。

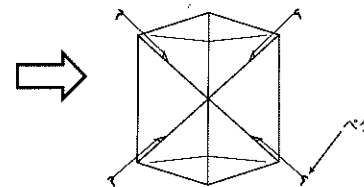
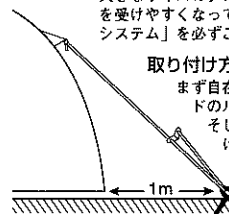
②フライのジッパーを閉じ、前室を張り出す際はCの部分の片側のループにペグ打ちしてください。

8 ストームガードシステムの活用

大きなサイズのテントはその構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガードシステム」を必ずご活用ください。

取り付け方

まず自在ロープの端をストームガードのループに固定します。そして打ったペグにロープをかけて自在をしめあげます。



①上・左図の要領にて4カ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。
②自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かないよう調節してください。

▲ 取扱上の注意

●テント内での火気の使用は危険ですのでお避けください。また炎から離れたところに設営してください。●テント内と外の気温差が高い時、テント内に水滴が生じることがありますが(結露)これは水漏れではありません。窓をあけるなど換気を行なうことで軽減できます。●台風・暴風雨の際は危険ですのでテントの使用はお避けください。

▲ 収納・保管の注意

●ご使用後は汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態での収納すると色うつりする場合があります。●生地が破れなどは市販のリペアキットで補修が可能ですが、パーツ交換や本格的な修理が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。